



林野庁 北海道森林管理局

令和7年度

空知森林管理署の紹介



【美唄防風林とマガン】

この地域は明治から昭和初期にかけて石狩川の改修とともに農地が造成され、それにあわせて防風林が整備されました。その中に残されたラムサール条約湿地の宮島沼などをマガン、ハクチョウなど多くの渡り鳥が中継地として利用しています。国の天然記念物でもあるマガンは夏にロシアのカムチャツカなどで繁殖し、冬は日本の宮城県などで越冬するため渡りの中継地として毎年春と秋に数万羽が飛来します。



マガン

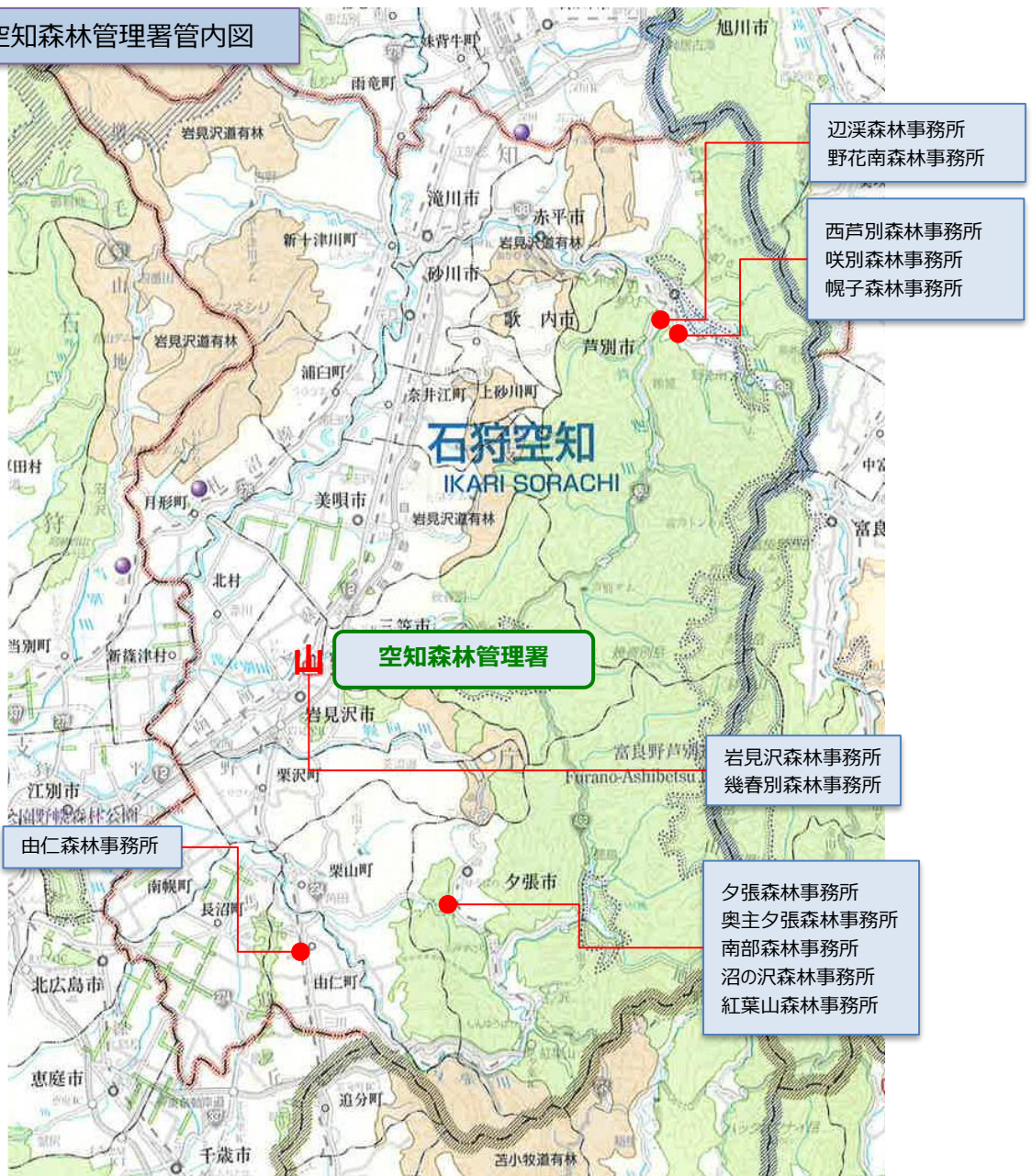
管理経営の基本は 公益的機能の一層の推進です

空知森林管理署は、石狩空知森林計画区の夕張山系地域の6市5町に広がる、約16.4万HAの国有林野の管理経営をしています。

夕張岳（1,668M）、芦別岳（1,727M）を主峰とし、空知川、幾春別川、夕張川等の集水域となる山地で、トドマツ、エゾマツ、ミズナラ、カンバ類等が混交する天然林を主体とし、一部トドマツ、アカエゾマツ等の人工林で構成されています。また、石狩平野には、防風保安林が格子状に配置されています。

これらの森林は、木材を供給するばかりでなく、国土の保全や水源の涵養、地球温暖化をもたらす二酸化炭素の吸収・貯蔵、レクリエーションの場や野生生物のすみかの提供など、森林の有する多面的な機能の発揮により私たちにとってかけがえのない存在となっています。

空知森林管理署管内図



機能類型にふさわしい 森林の取扱いを進めています

国有林の森林の区分

森林に対する国民の期待は、国土の保全や水源の涵養に加え、地球温暖化の防止、生物多様性の保全など、公益的機能の発揮を中心として多岐にわたっています。

令和4年度に策定した石狩空知森林計画区の「地域管理経営計画」では、こうした国民の期待を受け、空知森林管理署の国有林野を重視すべき機能に応じて以下の四つの機能類型に区分して、公益重視の管理経営に取り組んでいくこととしています。

機能類型区分

機能類型の考え方

水源涵養タイプ

12.7万ha（76%）

良質な水の安定供給など水源の涵養機能を重視すべき森林

三笠市 212林班



山地災害防止タイプ

2.0万ha（12%）



山地災害防止及び土壌保全機能を重視すべき森林

芦別市 3353林班

自然維持タイプ

1.4万ha（9%）

原生的な森林生態系や属地的な生物多様性保全機能を重視すべき森林

峠山



森林空間利用タイプ

0.5万ha（3%）



森林とのふれあいの場としての機能を重視すべき森林

利根別自然休養林

※ 機能類型区分の面積には森林外面積も含んでいます。

公益的機能の維持増進のために さまざまな取組を進めています

保安林の整備

私たちが普段あたりまえのように思っている安全で快適な暮らし。その陰には水源の涵養や山地災害の防止などをはじめとする多面的な森林の働きがあります。それらの働きを高めるため、国有林のほとんどが保安林に指定されており、森林法に則った適正な管理を行っています。

近年、記録的な大雨などによる山地災害が多発傾向にあります。空知地方のような積雪寒冷地帯では、地すべりなどで森林が破壊されると回復するまで長い時間がかかります。

山地災害の復旧は当然のことですが、特に人家や道路などが近くにある森林では、災害の予防工事を施すなど保安林の機能を高める必要があります。人が森林の再生に手を貸すことで、森林の回復を早め、新たな災害を未然に防いでくれるのです。

溪間工
(三笠市 桂沢担当区)



整備された防風保安林
(美唄市：岩見沢担当区)



エゾシカ対策の推進

エゾシカ対策については、管内の市や町と協定を結び捕獲連携事業（国：林道除雪・誘引、市町：個体捕獲・処理）を実施しています。

捕獲連携事業 誘引作業
(芦別市 辺溪担当区)



保護林の設定

原生的な自然環境の維持、貴重な野生生物の保護、遺伝子の保存などに必要な森林を保護林に設定し、適切な保護・管理に努めています。

管内では、ユウバリコザクラ、ユウバリソウなどの生息地として有名な夕張岳生物群集保護林や嵯山高山植物希少個体群保護林、月形スギ希少個体群保護林など合わせて17箇所が保護林に設定されています。



夕張岳生物群集保護林
(夕張市 夕張岳担当区)



嵯山高山植物希少個体群保護林
(芦別市 惣芦別担当区)

国民の森林にふさわしい 開かれた管理経営を目指します

森林・林業に関する情報・サービスの提供

国有林の管理経営にあたっては、「国民の森林」にふさわしい、国民の皆さんに開かれた管理経営を目指し、森林・林業に関する情報・サービスの提供に努めます。

計 画

国有林では、国民の大切な森林を管理するために、「管理経営計画」を立て、これに即した適切な管理経営に努めています。「管理経営計画」を立てる際には、地元意見交換会などを開催し、地域の皆さんのご意見の反映に努めています。

また、地方公共団体などの意見を聴き、民有林とも一体となって計画が立てられるよう協力し合い、森林づくりや木材の供給などの連携にも努めています。

森林・林業の普及・啓発活動

地域からの要請に応じ、森林教室、林業就業促進学習などの普及活動や自主的な森林整備活動に取り組む団体の活動を支援しています。



長沼高等学校 出張授業
(長沼町)



岩見沢農業高校 インターンシップ
(夕張市 沼の沢担当区)



マレウレウの森 動植物の生育状況調査
(栗山町 紅葉山担当区)



利根別自然休養林 外来植物の除去
(岩見沢市 岩見沢担当区)

流域を単位に民有林行政と 連携した取組を進めています

流域管理の推進

地域における森林整備や林業・林産業の活性化を図るためには、流域を単位として民有林と国有林で協調しながら計画を立て、事業を進めることが重要です。

このため、民有林行政を担当する振興局や市町などと連携して、流域の課題やニーズの的確な把握、森林計画等の策定のための意見調整などを進めています。



地域林業の現状共有にむけた
打ち合わせ（空知森林管理署）



市町村林政連絡会議
（空知森林管理署）

森林の現況（市町村別土地面積及び森林面積）

単位：ha、%

市町村	区域面積 (A)	森林面積 (B)	国有林面積 (C)	民有林	森林率 B/A	国有林比 C/B
夕張市	76,307	69,130	62,472	6,658	91	90
岩見沢市	48,102	16,080	3,375	12,705	33	21
美唄市	27,769	12,211	1,774	10,437	44	15
芦別市	86,504	75,695	68,868	6,826	88	91
赤平市	12,988	9,458	1,451	8,008	73	15
三笠市	30,252	25,774	20,249	5,525	85	79
南幌町	8,136	145	29	116	2	20
由仁町	13,374	4,815	466	4,349	36	10
長沼町	16,852	1,842	1,168	673	11	63
栗山町	20,393	10,531	4,250	6,281	52	40
月形町	15,040	8,916	122	8,794	59	1
合 計	355,717	234,508	164,105	70,372	66	70

注1) 区域面積は「第132回 北海道統計書」（令和7年北海道総合政策部）による。

2) 森林面積は「令和5年度 北海道林業統計」（令和7年3月 北海道水産林務部）による。

3) 国有林面積は、北海道森林管理局所管国有林及びその他国有林である。

4) 計は四捨五入のため必ずしも一致しない。

森林・林業技術者等の育成

国有林のフィールドや技術力を活用し、森林・林業技術を支援する森林総合監理士（フォレスター）等の育成を推進するとともに、北海道空知総合振興局とも連携しながら、市町における森林・林業技術の育成に向けた取り組みを実施しています。



合同労働安全パトロール



全天球カメラを使用した林況調査
(市町村林政連絡会議にて)



市町村森林整備計画実行管理推進
チーム活動でのドローン操作説明



「緑の雇用」新規就業者育成事業



由仁町と森林整備推進協定を締結

令和7年3月27日に、由仁町伏見地区の町有地33.89ヘクタールと隣接する国有林356.92ヘクタール、合計390.81ヘクタールを対象として、地域の森林を一体的に整備し効率的な施業を進めることを目的に「由仁町伏見地区森林整備推進協定」を由仁町と締結しました。

由仁町の地域林業の発展や森林の持つ公益的機能の高度発揮による地域環境の向上、森林資源の循環利用による地球環境への貢献を図ってまいります。



松村由仁町長(左)と武田空知署長



事業予定地での打合せ

森林・林業の再生に向けた 取組を進めています

森林吸収源対策の推進

森林は、二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働きがあり、二酸化炭素吸収料を確保・強化するため、再造林や間伐等の森林整備を推進し、健全な森林を育成しています。

ハーベスタによる間伐作業
(芦別市 辺溪担当区)



森林整備と木材の安定供給

森林の有する公益的機能を最大限に発揮するために行う森林整備に伴い生産された木材は、持続的・計画的に供給し、その収益は次の森林整備へ循環していきます。

素材（丸太）生産
(芦別市 辺溪担当区)



低コスト・高効率作業システムの推進

北海道における森林・林業の再生に向けて、北海道型作業システムにおける低コスト化の検証、誘導伐と苗木植栽のための地拵え作業の一括発注など効果的かつ効率的な森林整備のための技術体系の確立・定着に取り組むとともに、民国一体となった森林整備の普及に取り組めます。

また、計画的な森林整備を進めるために欠かせない、丈夫で簡易、低コストな路網づくりを進めています。

林業専用道（新奥登川）
(夕張市 沼の沢担当区)



木材利用の推進

人と地球に優しい素材として再生可能な資源である木材の有効利用を図るため間伐材の利用を推進しています。

また、国有林では治山や林道工事等に積極的に間伐材を使用しています。

木製校倉式土留工
(芦別市 落辺担当区)

自然豊かな国有林で

緑と友達になってください

レクリエーションの森

国民の皆さまが身近に森林とふれあえる場として、管内に自然休養林、自然観察教育林、野外スポーツ地域などのレクリエーションの森を設定しています。



利根別自然休養林
(岩見沢市 岩見沢担当区)



馬追自然の森自然観察教育林
(長沼町 由仁担当区)



南幌自然観察教育林
(南幌町 由仁担当区)



桂沢スキー場
(三笠市 幾春別担当区)

協定締結による国民参加の森林づくり

国有林では、森林とのふれあいや企業の社会的責任活動などの国民の多様な要請に応えるため、協定締結によるフィールドの提供や必要な技術指導を行うなど国民による国有林野の積極的な利用を推進しています。空知森林管理署では6協定の締結をしています。



大富原野の森
(美唄市 岩見沢担当区)



夕張岳森林パトロール
(夕張市 夕張岳担当区)

令和7年度の主な事業量

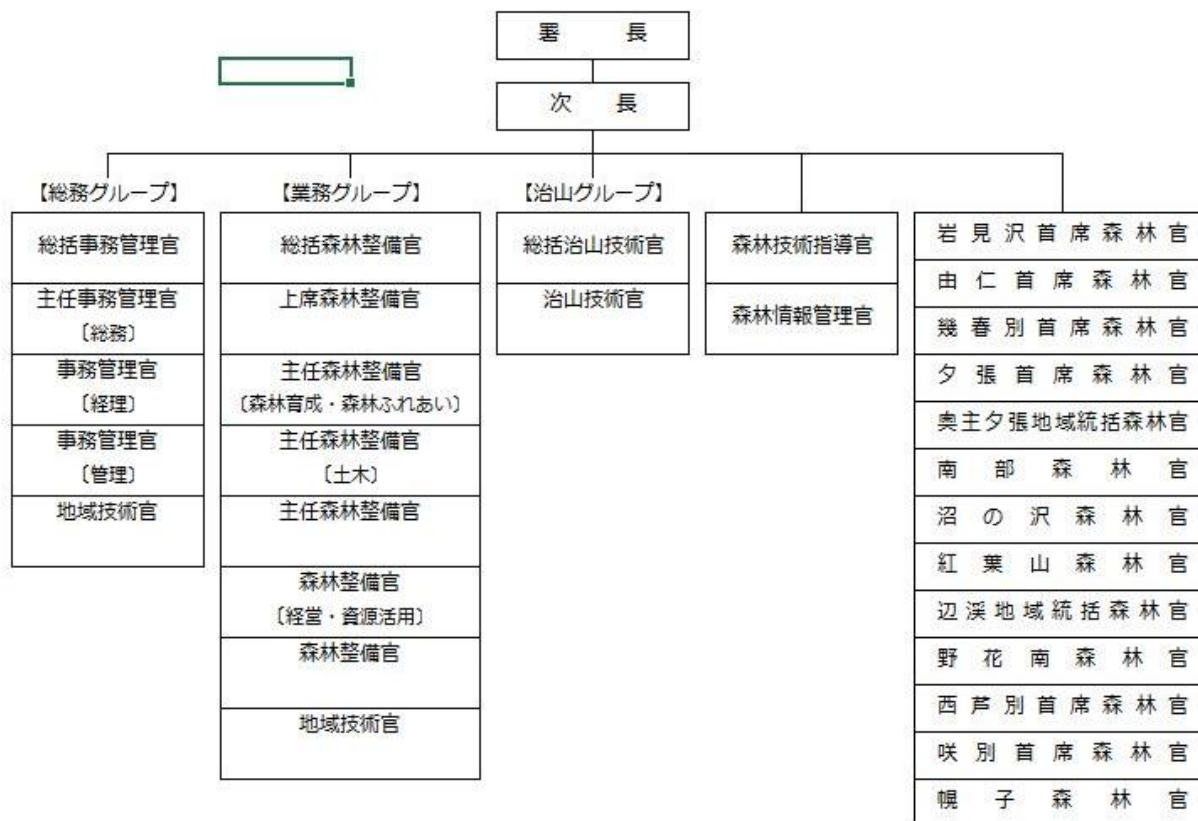
区分		事業量・金額	備考
収穫量	主伐	36,900 m ³	
	(上記のうち立木販売)	3,800 m ³	
	間伐	134,300 m ³	
	(上記のうち立木販売)	54,800 m ³	
製品生産	素材生産量	63,000 m ³	
販売量	立木	57,600 m ³	
	製品	63,000 m ³	
造林	地拵	ha	
	植付	23 ha	
	下刈	176 ha	
	つる切り、除伐	479 ha	
林道	新設	1,703 m	新奥登川林道（林業専用道）
治山事業	溪間工等	228 百万円	5か所分

※明許繰越及び翌債を含む。

沿革

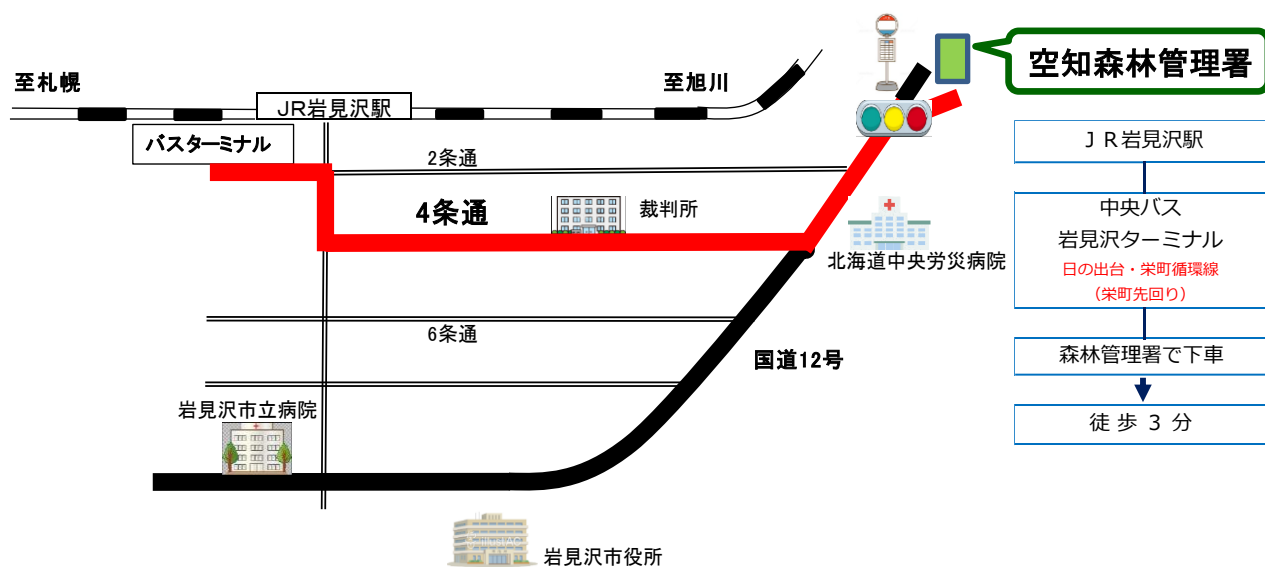
明治23年（1890年）	御料林札幌支庁空知出張所設置（旧宮内省所管御料林）
明治41年（1908年）	札幌に営林区設置（旧内務省所管国有林）
昭和22年（1947年）	林政統一により岩見沢営林署設置（旧内務省所管国有林）
平成11年（1999年）	空知森林管理署に組織再編
平成13年（2001年）	夕張事務所が廃止され空知森林管理署に統合
平成16年（2004年）	芦別事務所が廃止され空知森林管理署に統合
平成25年（2013年）	一般会計化に伴う内部組織の再編によりグループ制となる

組 織



森林事務所の所在地

名 称	郵便番号	所 在 地	電話番号
岩見沢森林事務所 (岩見沢、万字) 幾春別森林事務所 (桂沢、幾春別)	068-0003	岩見沢市 3 条東 1 7 丁目 3 4	0126-22-1694
由仁森林事務所 (由仁、継立)	069-1205	夕張郡由仁町中央 1 3 1	0123-83-2200
夕張森林事務所 (夕張、前主夕張) 奥主夕張森林事務所 (奥主夕張、夕張岳) 南部森林事務所 沼の沢森林事務所 紅葉山森林事務所	068-0424	夕張市千代田 5	0123-56-5211 0123-56-5212
辺溪森林事務所 (辺溪、平岸、落辺) 野花南森林事務所	079-1371	芦別市上芦別町 1 7 6	0124-22-2374
西芦別森林事務所 (西芦別、頼城) 咲別森林事務所 (咲別、惣芦別) 幌子森林事務所	079-1371	芦別市上芦別町 1 7 6	0124-22-5700



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局

空知森林管理署

〒 068-0003

北海道岩見沢市3条東17丁目34番地

TEL 0126-22-1940